

## 安全委員会MTG 議事録

2024年10月16日（水）20:30～21:30

参加者（敬称略/順不同）

野口安全委員長

安全委員会：霜山/香村/駒井/小林

各地有識者：土屋（逗子）/藤田（関西）/板庇（琵琶湖）/

水田（九州）/香村（三浦）

学連：青木（副委員長・安全対策委員長）

事務局：永田（書記）

### 【大会をオーガナイズする際の安全についての注意点として】

○安全対策届の安全対策責任者の欄にご本人の確認をしないまま

記載をしているケースが見受けられる事について

⇒必ず、責任者としての確認をする事、およびレスキュー体制に

おいて事前安全対策における中止基準がクリアできるか確認。

○事前安全対策の風速について

⇒中止基準の風速は、通常船舶などが救助艇の場合12m以下

で記載する。それ以上の風速の場合は主催者が責任を持ち、必ず水上オートバイを配備し人命救助ができるものとする。開催場所や救助艇などの準備内容で判断し記載する。海上保安庁からは厳しく指摘される部分であり要注意。

#### ○事前安全対策の波高および視界について

⇒レスキュー体制によるが、責任者に確認ののち

基本、波高 2 m 視界 1000m から、変更可能とする。

#### ○大会運営について

⇒大会開催場所である陸上および海上においては、その地域の

注意やルールを順守し、海上運営とレスキュー部隊は必ず事前

に情報共有を行う。

#### ○陸上本部について

⇒選手に限らず、一般の方や地域の方からの問い合わせ先

として、陸上本部の設置は大会会場に必要と思われる。

安全としては、陸上本部内に A E D の設置を推奨している。

JWAが保有しているAEDは貸出可能（要申請）

○大会会場の環境について

⇒駐車場、道具の置き方などで実際に問題が起きている。

一般の方々およびショップのお客様（スクール）などに  
接触や被害を与えてしまわないように注意する。

大会参加者には海上に出艇した後の事も考慮してもらい、  
道具を広げたままにしない、車の後ろドアを開けっ放しにし  
ない、ゴミを放置しない、共有部分の使用ルールを順守。

○大会申請書類について

⇒公示および申請書、安全対策届などを作成する者は  
記載する名前の方に必ず報告し、許可を頂く。

○海保、警察、消防、地域について

⇒書類提出が必要な箇所には必ず事前に書類の提出を行う。  
地域の関係団体にも大会開催の報告をできる限り行う。